

射水市「施設カルテ」説明書

1 「施設カルテ」とは

本市では、公共施設を取り巻く環境が大きく変化する中、限られた財源で持続可能な公共サービスを提供していくため、1施設ごとの現状を可視化した「施設カルテ」を作成し、公表します。

本市の「施設カルテ」では、一般会計で管理する公共施設（学校、保育園、市庁舎などの建物）を対象とし、施設の稼働率や収支の推移、修繕履歴等の資産管理に関する情報を掲載しています。

2 「施設カルテ」の見方

- ・各年度時点のデータを掲載しています。
- ・原則、施設管理にかかる支出を計上しており、人件費や事業費、事務費等は含まれていません。
- ・複合施設にかかるコストは、原則面積按分しています。

①基本情報

施設カルテ
2023年実績施設 市庁舎
住所 富山県射水市新開発410-1所属 資産経営課
用途 庁舎 複合区分 単独

■施設写真



■地図



■施設基本情報

施設コード	BH001
施設名称	市庁舎
施設分類	庁舎
施設延床面積	15,434.86㎡
土地の保有敷地面積合計	0㎡
用途地域	市街化調整区域

■備考

【基本情報】

施設の名称や分類、延床面積、地図などを記載しています。

なお、施設コードや名称は、固定資産台帳など、市が業務上統一して使用しているものです。

■施設運営情報

利用者数	8:30~17:15
開館時間	
稼働率	

②棟情報

■建物一覧 (全 3 件) ※最大15件表示

棟番号	棟名称	建築年	耐用年数	延床面積(㎡)	構造	取得価格(千円)	減価償却累計額(千円)	老朽化率(%)
BH001_1-1	市庁舎	2016年	50	10,411	鉄骨鉄筋コンクリート	3,733,121	447,974	12
BH001_2-1	駐車場	2016年	31	4,756	鉄骨造	497,743	98,553	20
BH001_3-1	ポンプ室・車庫	2016年	31	268	鉄骨造	28,002	5,544	20

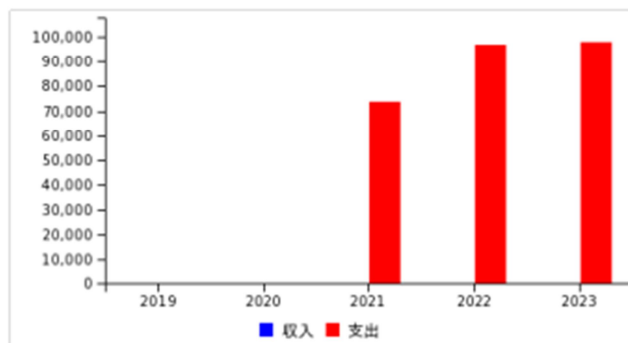
【棟情報】

施設を構成する棟ごとの「建築年」、「(法定)耐用年数」、「延床面積(㎡)」、「取得価格」、「減価償却累計額」、取得価格に対して、どれくらい減価償却が進んでいるかを示す「老朽化率」を記載しています。

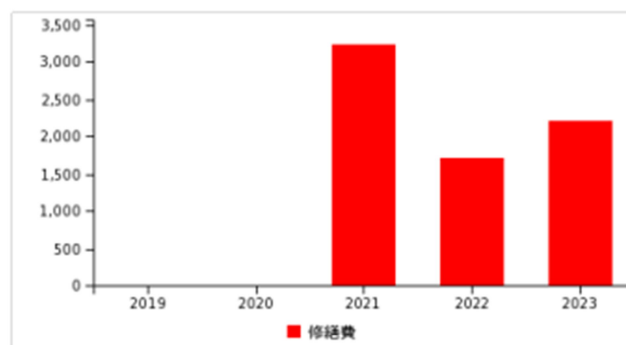
2P

③当該年度の維持管理費及び 収入状況

【支出+収入(千円)】



【主な修繕・改修費用(千円)】



■収入支出情報

その他	0千円
電気代	28,588千円
ガス代	0千円
燃料費	7,394千円
水道代	1,678千円
修繕費	2,208千円
建物管理委託料	57,599千円
■支出合計	97,467千円

使用料・利用料収入	0千円
■収入合計	0千円

収支及び修繕費のグラフ表示は
R3 年度以降の直近 5 年分まで

支出データ

- ・光熱水費、修繕料、使用料及び賃借料（LED 照明賃貸料等）、建物管理委託料
(保守管理にかかる費用)

収入データ

- ・使用料、利用料

④大規模改修等の履歴

(R3 年度分以降、35 件程度まで累積掲載)

■大規模修繕・改修工事履歴

実施期間	工事種別	工事名	工事費(千円)
2023/04/01 - 2024/03/31	設備更新	市庁舎立体駐車場 1 階	129
2023/04/01 - 2024/03/31	設備更新	射水市役所電気自動車充電設備設置工事	18,729
2023/04/01 - 2024/03/31	設備更新	射水市役所電気自動車充電設備設置工事（普通充電器分）	4,002
2023/04/01 - 2024/03/31	設備更新	射水市役所電気自動車充電設備設置工事	3,854

*用語解説

用 語	解 説
(法定)耐用年数	国税庁が定める建物の構造や用途別の減価償却の基準。 *法定耐用年数はあくまで財務省令で定められた課税の公平性を保つための基準であり、建物の安全性を保証する期間ではありません。
減価償却費	建物や機械設備など、長期間にわたって利用する資産の購入価格をいったん資産として計上した後、その金額を資産の耐用年数にわたって定期的に費用として配分される金額。
減価償却累計額	固定資産を取得してから現在までの減価償却費の合計額。
老朽化率	有形固定資産減価償却率を指し、施設等が法定耐用年数に対して、取得からどれくらい経過しているか(減価償却がどれくらい進んでいるか)を示す割合。